

日能研	4年							
	算数							
学習内容	14回 平均の意味と役割 15回 集合とベン図① 16回 集合とベン図②							
家庭学習 ポイント	12月は「平均の意味と役割」「集合とベン図①②」が範囲となります。14回「平均の意味と役割」では、平均の意味と具体的な平均の出し方について学びます。全体の合計を個数で割ると平均が出るということは、平均から全体の合計を計算することもでき、このことを利用して2つのグループそれぞれの平均から全体の平均を出す、といったことも学んでいきます。。平均については出題されている問題の幅が広いため、「平均とは何か」という概念的な理解をしっかりと定着させておくことが必要です。面積図を利用した問題では縦に一つ当たりの数（つまり平均）を、横に人数・本数などの個数が入り、その積である面積が全体の合計を表すことを、練習を通してよく理解しておきましょう。15回「集合とベン図①②」では、集合の考え方とベン図の意味、見方、書き方について学習します。ベン図の重なり処理、線分図との関係についても理解を深めます。手を動かすことを身に着けるのが単元定着の近道です。図表の描き方には講師や問題集によって幾らかの方法が分かれるため、自分のわかりやすいルールを定めておくことが大切です。今回初めて学ぶ面積図やベン図はその読み方も重要です。面積の等しい部分や重なりが何を意味しているのか理解しておくことが大切です。							
課題の把握と解決策	チェック1	「平均とは」という概念理解が進んでいますか？						チェック
	解決策	たくさんの棒グラフがあり、それを「ならす」といったイメージを持っておくといいですね						□
	チェック2	2つのグループそれぞれの平均から、全体の平均を出すことができますか？						チェック
	解決策	式による計算と面積図、いずれも使いこなせるようになりたいですね						□
	チェック3	ベン図の重なりの意味が腑に落ちていますか？						チェック
	解決策	書き表し方はベン図以外にも線分図や表などがあります。いろいろな方法でイメージしましょう						□
	チェック4	3つのベン図の問題を正しく処理できていますか？						チェック
	解決策	7つのエリアそれぞれに記号をふって整理するとよいですね						□
	チェック5	冬休みに解決すべき課題がはっきりしていますか？						チェック
	解決策	大手塾では唯一講習会が「総復習」です。まずは冬期講習のカリキュラムをチェックしましょう						□
日能研	4年							
	国語							
学習内容	14回 重要語句と段落 15回 中心文と段落 16回 要点と段落							
家庭学習 ポイント	12月～1月は説明文、論説文の「精読」を訓練する2ヶ月になります。説明文・論説文の読解は、文章の細部を理解し、全体のつながりを探る作業になります。段落ごとの役割を考えながら、重要語句や中心文を発見する力を養いましょう。テキストは、最終的には文章全体を的確に要約していく力をつけることを目標に、その土台の養成を意図した構成になっています。今後難しくなっていく説明文・論説文への対処として、文章の中心をとらえ、段落構成をイメージする力が求められます。これが獲得できれば、細かな部分に囚われることなく、筆者の言いたいことが掴めるようになります。設問の意図がうまくつかめるようになれば、場当たり的で外れな解答が減っていきます。結果「読めたと感じた時しか解けない」という不安定な状況を脱することができます。授業ではそのテクニックを1つずつ習っていくのですが、授業で説明されると納得できても、それをテストなどの課題文に対し自力で再現できるようにならなければ、点数には結びつきません。そのために、親御さんが質問を繰り返し、思考・取捨選択の癖を見つけて正していきましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	説明文・論説文の読解では、段落ごとの要点を意識していますか？						チェック
	解決策	段落ごととに1つの要点があることを意識して読むと、全体としての意味がわかりやすくなります						□
	チェック2	重要語句、中心文を意識して探しながら読んでいますか？						チェック
	解決策	上記の「段落ごとの要点」を掴むのに役立つ視点です						□
	チェック3	語彙を増やす努力をコツコツ続けていますか？						チェック
	解決策	ご家庭の会話で、あえてお子さんの知らないタイプの言葉で話してみるのもいいですね						□
	チェック4	設問を読んで「どの段落のことを答えさせたがっているのか」がわかりますか？						チェック
	解決策	段落ごとの要点がわかるようになると、設問の意図する部分がわかるようになります						□
	チェック5	授業で習ったテクニックを、実際の問題演習で使うことができますか？						チェック
	解決策	宿題を始める前に「今週はどんな読解テクニックを習ったか」ざっと見直してみましょう						□

日能研	4年							
	理科							
学習内容	8回　光と、鏡と虫めがね							
家庭学習ポイント	12月は冬期講習までに8回「光と、鏡と虫めがね」を学習します。まず、虫めがねによって光が集まっていく作図をしっかりとできるように練習しましょう。「光が集まる点＝焦点」そして「焦点距離」を意識して書けるようにしておくことが大切です。焦点に向かって集まった光は（光は必ず直進するので）再び直進して広がっていくこと、そして焦点から離れるほど同じ面積あたりの明るさが暗くなることなど、作図から実感しにくい場合は自分で太陽光で実験してみるのもいいですね（焦点に光を集めると高温になりますから注意しましょう）。そしてレンズで光の進路が曲がることについては、光の屈折が関係しますが「レンズのふくらみが大きいほど光がよく曲がる＝焦点距離が短くなる」と押さえておきましょう。鏡の反射に関しては、まず第一に「入射角と反射角の大きさが等しい」ことを理解しておくことが大切です。入射角・反射角の位置も、図の中で示すことができるようにしておかなければなりません。また「鏡に映る＝同じ大きさ、形（線対称）のものが鏡の中世界に入る」というイメージで作図ができるといいでしょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	凸レンズによって1点に光が集まる様子を正しく作図できますか？						チェック
	解決策	1点に集まった後、広がっていく様子までしっかり書けるようにしておきましょう						□
	チェック2	レンズの厚みと焦点距離の関係を、正しく説明できますか？						チェック
	解決策	「レンズが厚いほど光がよく曲がる＝焦点距離が短い」でいいですね						□
	チェック3	鏡の反射によってできる像を正しく作図できていますか？						チェック
	解決策	鏡をはさんで線対称となる図が書けるよう練習しましょう						□
	チェック4	入射角と反射角の位置を図の中で示すことができますか？						チェック
	解決策	入射光と反射光の「（地面ではなく）地面に対して垂直な線」に対する角度のことですね						□
	チェック5	冬休みに力を入れて学習したい分野、単元は決まっていますか？						チェック
	解決策	日能研の冬期講習はこれまでの総復習。まずはカリキュラムをチェックしてみましょう						□
日能研	4年							
	社会							
学習内容	8回　自然豊かな大地、北海道							
家庭学習ポイント	第8回では「自然豊かな大地、北海道」について学習します。東北や北海道に限った話ではありませんが、各地の気候や地形の特色は農水産業に大きく影響しています。学習する際にはどのような気候や地形がどのような農水産物に適しているかを意識しましょう。ある地域で特定の農水産物が生産されるのはどのような条件が満たされているからかを考えることが重要です。同じ北海道でも札幌と旭川で雨温図が大きく異なる理由や、隣接する県や地域なのに、農水産物の内容に差がある理由を意識できるようになると、いろいろなパターンの設問に対応できるようになります。北海道に関しては開拓の歴史やアイヌ、北方四島等についても、きちんと学んでおきましょう。冬期講習は全4回のプログラムで、日本全国の地理について横断的に学びます。ここまで学んだ内容が、かなりの精度で頭の中に整理されているお子さんは、以後自分一人の力で社会を学習できるでしょう。そうでない場合は（社会は自力で勉強してほしいと思われる親御さんも多いですが）、親御さんの何らかのサポートが必要です。覚え方、学習の仕方などについて効率が悪かったり「丸覚え」しているようなら修正して上げる必要があるでしょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	カレーライス/material=ジャガイモ、ニンジン、タマネギの生産量がいずれも1位の都道府県は？						チェック
	解決策	北海道ですね。お米は新潟県（北海道は2位）です						□
	チェック2	乳牛、肉牛とも飼育数がトップの都道府県は？						チェック
	解決策	北海道です。その他鹿児島県（ぶた1位）、宮崎県（肉用若鶏1位）など押さえましょう						□
	チェック3	上記北海道の石狩平野はもともと稲作に適していない土地でしたが、盛んになった理由は？						チェック
	解決策	「客土」と呼ばれる稲作に適した土を他の土地から持ってきたんですね						□
	チェック4	社会の学習に地図帳、白地図を活用していますか？						チェック
	解決策	特に白地図は自分で作ると繰り返し入試まで活用でき、おすすめです						□
	チェック5	冬休みに力を入れて学習したい分野、単元は決まっていますか？						チェック
	解決策	日能研の冬期講習はこれまでの総復習。まずはカリキュラムをチェックしてみましょう						□